

平成22年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成23年3月16日(水) 広島合同庁舎会議室
委員	中川 郁夫 (委員長/税理士) 神野 智文 (財団法人客員研究員) 森嶋 久雄 (不動産鑑定士) 藤井 堅 (大学院教授) 爲末 和政 (弁護士)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成22年10月1日 ~ 平成22年12月31日		
審議対象件数	64件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	9件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等 「報告事項」 ・低入札事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		1件
	一般競争(政府調達協定対象外)		4件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	4件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出理由】 ・契約金額が最大のもの、1者応札のもの、工事(業務)内容のわかりにくいもの、同種工事で落札率にばらつきがあるもの及び低価格入札のものを抽出した。 【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札】 《岩国飛行場(H22)整備格納庫新設機械工事》 ・入札状況調書で「無効」と表示されている3社については、低入札だったのか。 ・整備格納庫の建築工事は本工事に含まれているのか。機械工事の内容は何か。 ・加算点が4点と極端に低い業者がいるがなぜか。 ・採点の基準はあるのか。	・低入札における施工体制確認のための追加資料の提出ができないという理由で辞退したものである。 ・建築工事は別発注であり、当該工事は航空機の格納庫2棟の機械工事であり、空調、消火配管が主な工事である。 ・提出された技術提案が標準案であったため、技術提案の採点は0点であり、施工計画のみの採点(4点)となったためである。 ・2課題の技術提案が各15点満点、施工計画が10点満点の合計40点満点を設定しており、当局の技術担当者3名で評価している。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・技術提案の課題は何か。</p> <p>・技術提案は、提案数または提案量が多ければ評価点は高いのか。</p> <p>・施工体制評価点が30点の業者が12社いるが、なぜ同点なのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（22）滑走路移設飛行場舗装整備工事》</p> <p>・工事内容は何か。</p> <p>・1社応札であるが、中国四国管内に入札参加資格業者は他にいくついるのか。</p> <p>・落札率が98%と高いのはなぜか。</p> <p>【一般競争入札】 《広（22）ユーティリティ（468）整備土木工事》</p> <p>・他の工事に比べ加算点が低いのはなぜなのか。</p> <p>・工事概要に磁気探査とあるが、何を探査するのか。</p> <p>【一般競争入札】 《小月外（22）宿舎テレビ共同受信設備改修工事》</p> <p>・同種工事でありながら各地区（米子外、徳島外）の落札率にばらつきがある原因は何か。</p>	<p>・①入門手続きの円滑化及び詳細図作成、建築工事の進捗を踏まえた、格納庫2棟の同時進捗並びに工期短縮に係る工程管理について</p> <p>②格納庫内における設備機器及び配管等の脱落防止対策に係る品質管理についての2課題である。</p> <p>・1課題に対する技術提案数は5つまで及び提出枚数はA4版換算で3枚以内としており、標準的な提案には点数を付与せず、有効な提案のみに付与している。</p> <p>・応札価格が調査基準価格を下回った場合は、契約内容に適合したた履行がなされないおそれがあるため、加算点を減点する場があるが、12社については調査基準価格を下回っておらず、施工体制は確保されていると判断し、満点の30点を付与したものである。</p> <p>・飛行場の滑走路部分の排水能力を高めるため、カッターで路面に溝を掘る工事である。</p> <p>・民間空港の滑走路では、アスファルトのグルーピング工法（安全溝）を実施しているため、当該工法での実績のある業者はいるが、コンクリートのグルーピング工法での実績のある業者は極めて少ない。</p> <p>・当該工種の歩掛りが少ないため、見積もりを徴収し積算したためと思料する。</p> <p>・評価点が最高の者に満点（20点）の加算点を付与し、その他の者には評価点を按分して算出した加算点を付与しているところであるが、工事の規模及び内容により加算点は異なる。</p> <p>・当該地区は、不発弾の有無を調査してから、消火配管を整備するものである。</p> <p>・各工事の工事場所が異なること、業者の得意、不得意がある等様々な条件の違いによると思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・入札参加資格の要件に山口県内に本店、支店又は営業所が存在する業者に限定しているのはなぜか。</p> <p>・入札参加資格業者は、地元の電気店でもよいのではないか。</p> <p>【一般競争入札】 《徳島外（22） 宿舎テレビ電波障害対策等工事》</p> <p>・2回目の入札で予定価格に達していなければ、3回目以降も実施するのか。 入札参加資格業者は、何社が入札に参加しているのかわかるのか。</p> <p>・施工成績の評価点は誰が付けるのか。</p> <p>・施工成績が65点未満の事例はあるのか。</p> <p>・入札前に1社辞退しているが、理由は何か。</p> <p>○建設コンサルタント業務等 【一般競争入札】 《岩国飛行場（H22）ターミナル整備土木設計》</p> <p>・当該業務は設計のみのなのか。</p> <p>・落札率が25%と低いが、この契約額で設計が可能なのか。</p> <p>・当該業者は、他の業務でも低入札しているがなぜか。 予定価格が高いのではないか。</p> <p>・入札参加資格である同種業務の実績は、過去何年間の実績が有効なのか。</p> <p>【公募型プロポーザル】 《岩国飛行場（22）藻場・干潟監視等業務》</p> <p>・参加資格のある業者は、何社あるのか。</p>	<p>・工事規模及び内容により当局で判断しており、当該工事は2千万円未満の少額工事であったため山口県内の業者に限定したものである。</p> <p>・品質確保のため、技術的にしっかりしている業者である必要があることから、当局に登録している有資格業者に限定している。</p> <p>・原則2回までだが、応札の意志があれば、3回目以降も実施する場合がある。 電子入札であるため、業者は、何社が入札に参加しているのかわからない。</p> <p>・工事完成後、監督官が評価し、施工成績を作成している。</p> <p>・数年に1回程度、工期内に完成しない、または、手直しが大規模で部隊に提供できない等の場合が該当する。</p> <p>・理由は不明であるが、他の工事を受注したことにより技術者が配置できなくなった等の場合が考えられる。</p> <p>・実施設計であり、工事を発注するための詳細図作成である。</p> <p>・低入札調査（資料提出及びヒアリング）を実施し、履行できると判断したものである。</p> <p>・同飛行場でのターミナルに係る設計業務2件で、業者は、人件費のみを通常どおり積算し、諸経費を低減しており、予定価格は適正であると思料する。</p> <p>・過去10年間に同種業務の実績があれば、契約金額及び件数に関係なく応募できる。</p> <p>・藻場・干潟の回復に係る調査検討を実施している業者は数社あると聞いているが、契約した業者は、瀬戸内海での知識が深いようである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・今後も発注するのか。</p> <p>・当該業務を受注したことのある業者が圧倒的に有利と思われるが、入札方式を変えてみる必要があるのではないか。</p> <p>・業務内容は何か。</p> <p>・技術提案の課題は何か。</p> <p>【簡易公募型プロポーザル】 《中国四国（22）防衛施設技術審査業務》</p> <p>・業務内容は何か。</p> <p>・何名で業務を行うのか。</p> <p>・履行期間はいつなのか。</p> <p>・局で発注するのではなく、効率よく、全局をまとめて発注できないのか。</p> <p>・予定価格はどのように決めているのか。</p> <p>・受注業者はどのような団体なのか。</p> <p>・職員は防衛省OBなのか。</p> <p>・本来、職員が行う審査業務を外部の者に委託するのはどうかと思われるが。</p>	<p>・滑走路沖合移設事業がほぼ終了し、消滅した藻場を回復させるための回復工事を行っているが、工事終了後3年間モニタリングを行い、その状況を踏まえ、当該業務を終了するものであるが、数年かかるものと思料する。</p> <p>・当該業務は、専門性の高い業務であるため競争入札方式ではなくプロポーザル方式が適正であると判断しており、2年前には、複数社の応募があった。</p> <p>・学識経験者で構成されている「藻場・干潟回復調査研究委員会」での審議に必要な藻場・干潟の監視等業務を行うものであり、同委員会にて調査結果を報告し、審議を行い、次年度の調査に反映させるものである。</p> <p>・①藻場・干潟の造成材として、産業発生副産物の活用に関する問題点を整理し、解決策を検討していくための着眼点と取り組み方法について ②専門的な技術力を活用し、本業務を的確に実施するための提案についての2課題である。</p> <p>・当局が総合評価方式により発注する建設工事で、入札参加業者から提出される34事案の競争参加資格資料（企業の技術力、企業による技術提案等）の整理・取りまとめを行うものである。</p> <p>・建築、土木、電気、機械及び通信の各1名の専門技術者で行う。</p> <p>・工事の発注が集中する年度の下半期である。</p> <p>・各局で管轄区域内の工事を発注するため、当該業務は、局単位で発注することになる。</p> <p>・本省で作成した歩掛りを基に積算している。</p> <p>・防衛省関連の財団法人である。</p> <p>・そう思われる。</p> <p>・入札参加業者から提出される競争参加資格資料の審査に関する業務が膨大で職員のみでは処理しきれないことから、発注者支援業務を委託したものである。当該業務は、職員が資料を審査する前の事前の資料の整理、取りまとめを行うものであり、最後に当局の職員が資料を審査するので問題はない。</p>

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	統計的分析資料を配付し説明	
	意 見 ・ 質 問	回 答
○委員からの 意見・質問	なし	なし
○それに対する 回答等		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公 募 型 指 名 競 争		0 件		
	指 名 競 争		0 件		
	随 意 契 約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件 名	契約方式	内容等
		意 見 ・ 質 問	回 答		
○委員からの 意見・質問		なし	なし		
○それに対する 回答等					
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			